

# 平成23年(2011年) 入域観光客統計概況 6月

平成23年7月公表資料

6月の観光客数は、39万7,300人。  
対前年同月比 △3万400人、△7.1%  
～平成22年12月から7ヶ月連続で前年同月実績を下回った～

## 国内外別入域状況

区分	入域観光客数	前年同月実績	前年同月比(人)	前年同月比(%)
国内客	366,000 人	394,400 人	△ 28,400 人	△ 7.2%
外国客	31,300 人	33,300 人	△ 2,000 人	△ 6.0%
合計	397,300 人	427,700 人	△ 30,400 人	△ 7.1%

## 地域別入域状況(国内)

区分	入域観光客数	前年同月実績	前年同月比(人)	前年同月比(%)	構成比
東京方面	171,800 人	193,000 人	△ 21,200 人	△ 11.0%	46.9%
関西方面	76,600 人	74,500 人	+ 2,100 人	+ 2.8%	20.9%
福岡方面	50,100 人	52,700 人	△ 2,600 人	△ 4.9%	13.7%
名古屋	34,800 人	35,200 人	△ 400 人	△ 1.1%	9.5%
その他	32,700 人	39,000 人	△ 6,300 人	△ 16.2%	8.9%
合計	366,000 人	394,400 人	△ 28,400 人	△ 7.2%	100.0%

## 国籍別入域状況(海外)

区分	外国人観光客数	前年同月実績	前年同月比(人)	前年同月比(%)	構成比
台湾	16,200 人	17,300 人	△ 1,100 人	△ 6.4%	51.8%
韓国	1,500 人	800 人	+ 700 人	+ 87.5%	4.8%
中国本土	2,700 人	3,100 人	△ 400 人	△ 12.9%	8.6%
香港	4,300 人	5,700 人	△ 1,400 人	△ 24.6%	13.7%
アメリカ	300 人	400 人	△ 100 人	△ 25.0%	1.0%
その他	6,300 人	6,000 人	+ 300 人	+ 5.0%	20.1%
合計	31,300 人	33,300 人	△ 2,000 人	△ 6.0%	100.0%

※今月の特例上陸者数は8,200人。

## 概況と見通し

### 【国内】

- 東京方面からの旅行需要が弱く、前年同月実績を下回った。一方で、関西方面については修学旅行を中心に持ち直しの動きが見られるなど、全体的には回復基調にある。
- 7、8月は、各方面の航空定期便の増便が予定されていることなどから、引き続き回復傾向で推移するものと見られる。

### 【海外】

- 6月は、チャーター便の運航が昨年よりも少なかったことや香港－那覇間の定期便運休による送客数の減少等から前年同月実績を下回った。
- 7、8月は、数次ビザの発給開始や、北京－那覇路線の就航、上海－那覇路線の増便、香港－那覇路線の運航再開等から、堅調な推移が見込まれる。

東京

- 低価格の旅行商品や間際予約の増加等で持ち直しつつあるものの、提供座席数の減少や団体旅行の回復の遅れ等から、前年同月実績を下回った。
- 7、8月は、現在の予約状況としては、家族旅行を中心に回復のきざしが見られる。今後の燃油サーチャージの値上げも、沖縄旅行にはプラス要因として作用するものと見られる。

大阪

- 6月は、修学旅行を、東日本大震災の影響により関東以北から沖縄へ振り替えた学校が多数あったため、前年同月実績を上回った。
- 旅行需要は持ち直しつつあり、昨年、高校総体の開催により8月後半から9月にシフトした夏場の家族旅行需要が戻ることも予想され、堅調な推移が見込まれる。

福岡

- 旅行需要は回復傾向にあるものの、旅行手控えの継続が見られることから、前年同月実績を下回った。
- 7月以降は、現在の予約状況としては伸び悩んでいるものの、スカイマークの増便、福岡－石垣間の運航開始等から今後の集客数増加が期待される。

名古屋

- 6月1日からスカイマークの名古屋－那覇路線が就航したことから、前年同月実績並みに推移した。
- 7月以降は、スカイマークの名古屋－那覇路線の増便や全日空の機材大型化、消費自粛の反動による需要増加等から回復傾向での推移が見込まれる。

台湾

- 6月は、復興航空やクラブメッドによるチャーター便の運航が再開されたものの、本格的な回復には至っておらず、前年同月実績を下回った。
- 旅行需要は回復傾向にあり、今後、航空会社や旅行会社とタイアップした広告キャンペーンの効果が期待される。一方、北海道や東京向けの旅行商品が低い価格帯で売り出されており、沖縄の割高感が強調されることも懸念される。

韓国

- インセンティブツアーが数件あり、クラブメッドによるチャーター便の運航も再開したことから、前年同月実績を上回った。
- 今後も、航空定期便が昨年よりも多く運航されること、チャーター便による送客、テレビショッピングによる送客が見込まれることから、堅調に推移するものと見られる。

中国本土

- 昨年運航されたチャーター便が今年はなかったこと、クルーズ船寄港による海路客(特例上陸者)が減少したことから、前年同月実績を下回った。
- 7月末に北京－那覇路線が就航すること、8月からは上海－那覇路線が増便されることから、今後は順調に推移するものと見られる。

香港

- 6月は、香港ドラゴン航空の運休から送客数が減少し、前年同月実績を下回った。
- 7月以降は、上記航空定期便の運航が再開されることや緊急対策として実施したメディア招聘等の効果から回復傾向で推移するものと見られる。

8月のトピックス

上旬	中旬
夏祭りin那覇2011 一万人のエイサー踊り隊 8月7日(日)	第56回沖縄全島エイサーまつり 8月19日(金)～21日(日)